

薩原第520号
令和6年12月8日

内閣府特命担当大臣（原子力防災） 浅尾 慶一郎 殿

薩摩川内市長 田中 良二

薩摩川内市議会議長 下園 政喜

川内原子力発電所に係る原子力防災対策の充実強化等について（要望）

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、九州電力(株)川内原子力発電所1号機については、本年7月4日に運転延長期間に入り、同2号機についても、来年11月28日に運転延長期間に入る予定です。

当該発電所については、原子力規制委員会による運転期間延長の認可を受け、当市市議会において、運転期間延長に対する賛成陳情を採択、反対陳情を不採択とし、また、市長としては、本市議会の意見・判断をはじめ、原子力規制委員会の審査結果等を踏まえて、昨年12月に運転期間延長の容認を表明しました。

原子力発電を活用する上では、住民の安全と安心を確保することが重要であり、安全性の更なる向上と防災対策の充実強化に不断に取り組むことが必要不可欠であります。

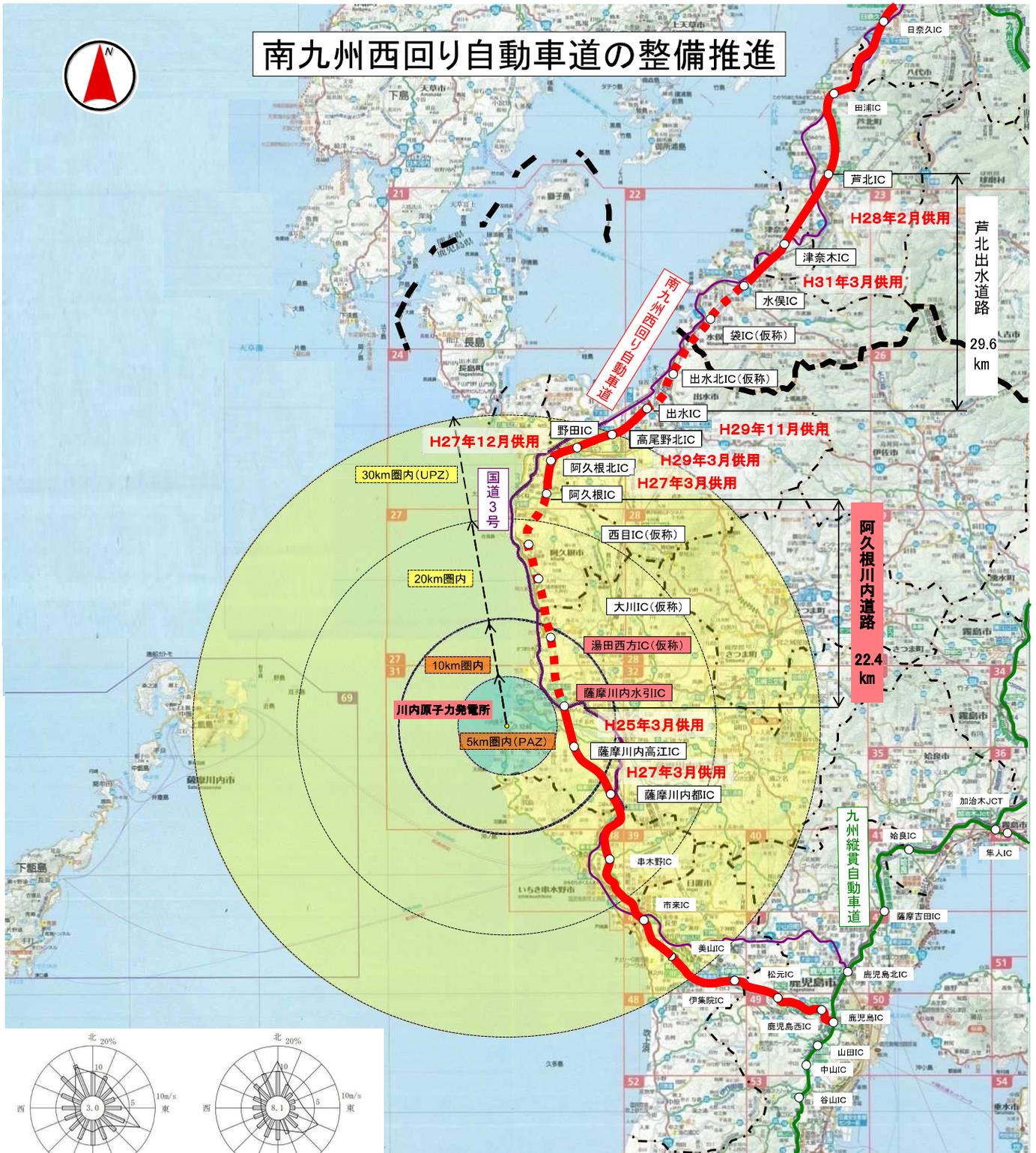
貴府におかれましては、原子力防災訓練の実施及び避難計画について不断に検証いただいておりますが、当市は、安全・安心の確保等に万全を期すため、下記の事項について要望します。

記

- 1 令和7年2月に川内地域で実施が予定される国主催の原子力防災訓練については、本年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」を踏まえた対応など実効性の高いものとなるよう関係機関と連携を図りながら訓練の充実を図るとともに、避難経路の整備、避難計画及び防災体制の実効性向上のための継続的な見直しなど、原子力防災対策の強化に努めていただきたい。
- 2 避難経路の整備については、原子力防災対策等における避難経路として、南九州西回り自動車道・阿久根川内道路の整備を加速していただきたい。



南九州西回り自動車道の整備推進



川内原子力発電所における全年の風配図

- 注) 1. 〱 風向出現頻度 (%)
 □ 平均風速 (m/s)
 2. 小円内の数字は静穏 (0.5m/s 未満) の頻度 (%)
 3. 統計期間: 1986年4月~1987年3月

出典: 令和6年度 薩摩川内市原子力防災計画

凡 例	
南九州西回り自動車道	供用済 ———
	整備中 - - - - -
九州縦貫自動車道	———
国道3号	———

作成: 薩摩川内市 建設部 建設政策課